

## 森林環境教育全国シンポジウム

# ふれあいから。私たちの森林，私たちの活動

## - 森林環境教育を進める地域づくり -

1997年12月に開催された「気候変動枠組条約第3回締約国会議」において、地球温暖化を防止する上で森林整備の重要性があらためて確認されました。今後、地球温暖化防止を進めていくには、森林のもつ二酸化炭素を固定する機能や多様な生物のすみかとしての機能など様々な機能についての理解を深め、国民が一体となって環境と調和した循環型社会を築いていかなければなりません。

一方で、まもなく21世紀を迎える現在、自然環境と調和した暮らしや精神的充足を求めて、里山林の保全活動やボランティアによる森づくりなど市民参加の実践活動や森林をフィールドとした子どもたちの体験学習活動、間伐材など地域の木質資源を活用したリサイクル利用活動など、各地で、環境教育や生涯学習あるいは地域づくり活動として、様々な形で森林に関わる実践活動が行なわれています。このような市民レベルの実践活動こそが地域資源である森林を有効に活用する循環型社会づくり=自然と調和した社会づくりへとつながり、地球温暖化防止のみならず、都市から過疎・山村地域まで、子どもから老人までみんながふれあう生き生きとした地域社会を実現していくものと考えます。

こうした市民レベルの活動を盛んにし継続していくためには、十分な技術と知識を備えた指導者を育成するとともに、森林での多様な体験活動を通じた森林環境教育の機会を子供たちをはじめ多くの市民に提供していくことが必要であると考えます。

本シンポジウムは、森林とのふれあい体験等を通じた森林環境教育のあり方について各分野の関係者が一堂に会して討議、情報交換を行うことを目的として開催します。

**日 時** 平成12年5月16日(火) 10:00 から  
" 17日(水) 12:00 まで

**会 場** 愛知県労働者研修センター（瀬戸市川平町78 0561-48-2611）  
および定光寺自然休養林（国有林）

**参加者** 都道府県森林総合利用事業担当者、森林組合および関係団体の実践者、  
学校教育関係者、環境教育事業者、森林づくり・地域づくり活動者、  
地球環境問題に取り組む企業、一般参加者等 300名。

**参加費** 無料（ただし宿泊費・食事代等は実費をご負担いただきます。）

**主 催** 全国森林組合連合会

**後 援** 林野庁、文部省、環境庁、国土庁、自治省、建設省  
(予定) 愛知県、愛知県教育委員会、瀬戸市、社団法人国土緑化推進機構  
社団法人全国林業改良普及協会、社団法人全国森林レクリエーション協会  
農林中央金庫、財団法人2005年日本国際博覧会協会、愛知県内森林組合  
愛知県森林組合連合会

## シンポジウム日程（予定）

### 〔第1日〕5月16日（火）

10:00～10:25	<b>開 会</b>	主催者あいさつ 来賓あいさつ 講師紹介	（講堂）
10:30～12:00	<b>基調講演</b>	「森林環境教育」の意義と背景等についての基調報告を対談形式で行います。 コーディネーター： 林 進氏（岐阜大学農学部教授） 講師： 稲本 正氏（オークヴィレッジ代表） 講師： 中川重年氏（神奈川県森林研究所専門研究員）	（講堂）
12:00～13:00	<b>昼 食</b>		
13:00～17:00	<b>ワークショップ</b> （各20名程度）	定光寺自然休養林内でのプログラム体験も含めたワークショップを実施します。 なお、テーマ等につきましては会場設営上の都合および当日の天候等により変更となる場合があります。 <b>学校教育の中や子どもを対象とした森林環境教育プログラムの進め方を考える</b> 1．森の中でのものづくり 講師： 山田辰美氏（富士常葉大学助教授） 2．子ども樹木博士 講師： 渡辺直明氏（東京農工大学農学部広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター助手） <b>森の中での遊びやものづくりを通して学ぶ森林環境教育プログラムの進め方を考える</b> 3．森林でクッキング 講師： 中川重年氏（神奈川県森林研究所専門研究員） 4．森のアート 講師： 佃 正壽氏（森の自然学校） 5．木のぼり（ツリークライミング） 講師： ジョン ギャスライト氏（コラムニスト） 6．森林のガイドマップをつくろう 講師： 水野一男氏（木文化研究所代表） <b>森林の生物を通じて学ぶ森林環境教育プログラムの進め方を考える</b> 7．小動物の生息を考えた二次林の整備プログラム 講師： 篠田陽作氏（ネイチャークラブ東海・環境教育担当） 8．木と学ぼう（プロジェクトラーニングツリー） 講師： 山本幹彦氏（京都ユースホステル協会環境教育事業部部長） 9．森の動植物から学ぼう（プロジェクトワイルド） 講師： 川尻秀樹氏（全国森林インストラクター会理事） <b>森林作業体験を通じて学ぶ森林環境教育プログラムの進め方を考える</b> 10．みんなでやろう山仕事 講師： 島崎洋路氏（島崎山林塾主宰・元信州大学農学部教授） 11．林業体験プログラムについて考える 講師： 原島幹典氏（林業家・森林インストラクター） <b>森林環境教育プログラムのデザインと事業企画を考える</b> 12．学校における森林環境教育のプログラムデザイン 講師： 菅井啓之氏（大阪教育大学附属池田小学校教諭） 13．森林環境教育イベントのプログラムデザインと事業企画 講師： 藁谷 豊氏（ワークショップ・ミュー代表）	
17:15～18:30	<b>ワークショップ講師を囲んで</b>	各テーマごとにワークショップ講師と参加者で意見交換を行います。	（第1・2会議室）

### 〔第2日〕5月17日（水）

8:45～11:00	<b>分科会</b>	<b>分科会1．学校周辺の森林を活用した体験学習</b> 学校周辺の森林を利用した体験学習や環境教育への取り組み事例から、学校教育における森林環境教育の役割と進め方について考えます。 コーディネーター： 山田辰美氏（富士常葉大学助教授） <b>瀬戸市立東山小学校のエコプログラム・森あそびをしよう</b> 報告者： 橋本昌典氏（瀬戸市立東山小学校教諭）	
------------	------------	--	--

**額田町立大雨河小学校のふるさと総合学習**

報告者： 荻野嘉美氏（額田町立大雨河小学校研究主任・教務主任）

**名古屋市立正色小学校の環境教育への取り組み**

報告者： 飯尾俊介氏（名古屋市立正色小学校校長）

**分科会 2 . 各分野での環境教育への取り組み**

各分野での環境教育の実践事例から、森林環境教育の位置づけとこれからの進め方について考えます。

コーディネーター： 篠田陽作氏（ネイチャークラブ東海・環境教育担当）

**長野県泰阜村の子ども長期自然体験村 - チャレンジ 14 in YASUOKA**

報告者： 辻 英之氏（グリーンウッド遊学センター専務理事）

**国営木曽三川公園アควアワールド水郷パークセンターでの環境教育施設運営**

報告者： 未 定（国営木曽三川公園アควアワールド水郷パークセンター）

**『トヨタの森』計画と環境教育活動への取り組み**

報告者： 池上博身氏（トヨタ自動車株式会社総務部企画室担当員）

**分科会 3 . 林業と森林の魅力を伝える森林環境教育の実践**

森林インストラクターや林業関係者自らが実践する活動事例をもとに、森林インストラクターの役割と森林環境教育の進め方を考えます。

コーディネーター： 佃 正壽氏（森の自然学校）

**森林インストラクターの仕事・愛知県の森林インストラクターの活動から**

報告者： 三河正敏氏（森林インストラクター会“愛”会長）

**森林インストラクターの仕事・海の子山の子体験プログラムの実践から**

報告者： 川尻秀樹氏（全国森林インストラクター会理事）

**森林インストラクターの仕事・東京都奥多摩都民の森の体験教室の実践から**

報告者： 原島幹典氏（林業家・森林インストラクター）

**分科会 4 . 森林資源の利用をすすめる森林環境教育**

循環型社会を構築するために木材をいかに有効に活用するかが問われているが、地域材の利用は減少の一途をたどっている。消費者に地域の木材を利用することの意義を理解してもらったうえで、利用をすすめてもらうという新たな視点から、今後の地域材供給のあり方をさぐります。

コーディネーター： 岡野 健氏（日本木材総合情報センター木のなんでも相談室室長）

**スギ間伐材ワリバン利用運動**

報告者： 佐藤敬一氏（東京農工大学農学部広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター助教授）

**生態系を考えた合理的な土地利用 - 森林バイオマスの利用をすすめるために -**

報告者： 堀田和裕氏（愛知県緑地工事工業協同組合事務局）

**檜の村（加子母）の森の交流大使の活動 - 木を使う、使ってもらい取り組み -**

報告者： 小川知子氏（加子母村森の交流大使）

**分科会 5 . 都市と山村・上流と下流をむすぶ森林環境教育**

もはや山村住民や林業関係者だけで森林整備を進めていくことはできない。各地ですすめられている地域を越えた人々の協力と連携による森林の整備の先進事例から、地域間の連携をすすめるための森林環境教育のあり方を考えます。

コーディネーター： 水野一男氏（木文化研究所代表）

**豊田市の水道水源保全事業への取り組み**

報告者： 金子 宏氏（豊田市環境政策課課長）

**穂の国森づくりの会のネットワークづくりと実践活動**

報告者： 穂積亮次氏（穂の国森づくりの会幹事・専門員、穂積林業）

**森林の役割を学ぶ湧水調査と下草刈り体験**

報告者： 太田真弓氏（富士環境クラブ事務局）

11:10 ~ 12:00

**全体会**

（講堂）

分科会コーディネーターに対する質問形式で、森林環境教育にかかる主な論点について考え方を明らかにしていきます。

コーディネーター： 川嶋 直氏（キープ協会常務理事）

講師： 分科会コーディネーター 5 名

12:00

**閉 会 主催者あいさつ**

**展示会場** 参加者や団体の活動紹介や後援団体等の資料展示のほか、関連書籍の販売を行います。情報交換・交流の場として、ぜひお立ち寄りください。出展希望の方は事務局までご連絡ください。

**都道府県セミナー**（5月17日13:30~18日14:00予定。もりとのふれあい環境教育活動支援事業実施都道府県担当者対象）もりとのふれあい環境教育活動支援事業実施都道府県担当者対象のセミナーを併催します。